

効率的かつ効果的な社会資本の維持管理に向けて 東北大学と連携・協力に関する協定を締結します

道路や橋など、社会資本の老朽化や災害リスクの高まりが全国的な問題となっていることを受け、仙台市は、社会資本の安全・安心の確保、防災力の向上および地域活性化など地域社会の持続的発展に寄与することを目的として、国立大学法人東北大学大学院工学研究科インフラマネジメント研究センターと連携・協力に関する協定を締結します。つきましては、締結式を開催します。

- 1 日時 3月22日(火) 午後1時から
- 2 会場 市役所本庁舎6階 建設局第一会議室
- 3 出席者 国立大学法人東北大学大学院工学研究科
インフラマネジメント研究センター長 久田 真(ひさだ・まこと)氏
建設局長
- 4 連携・協力事項の主な内容
 - (1) 社会資本の老朽化に備え、各種データや知見の共有化を図り、本市で進める長寿命化修繕計画の合理化・効率化に向けて、連携して検討します。
 - (2) 激甚化する災害に備えて、防災に視点を置いた社会資本の整備や維持管理の進め方について、連携して検討します。
 - (3) 社会資本の整備や維持管理に関する調査・研究や研修会等への人材派遣の相互協力により、更なる技術力の向上を目指します。



橋梁の点検状況



橋梁主桁の損傷状況